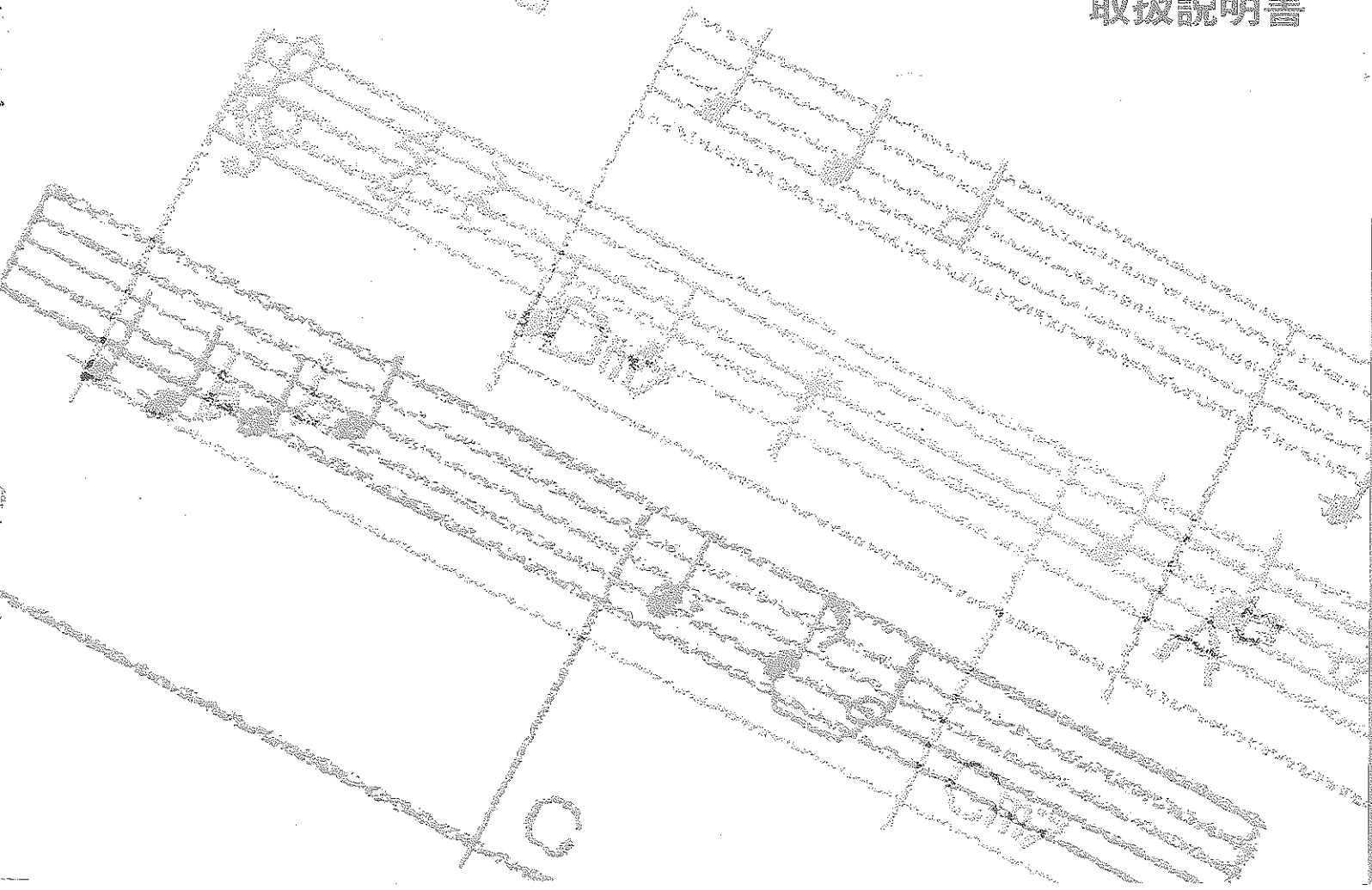


YAMAHA PortaSound MP-1

取扱説明書



ご・あ・い・さ・つ

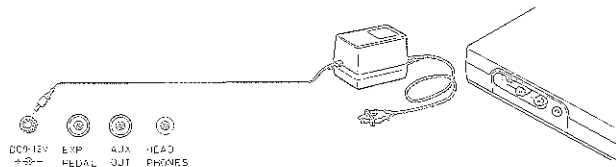
このたびはヤマハポータサウンドMP-1をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。MP-1は、常に新しい電子鍵盤楽器を誕生させてきたヤマハが、そのエレクトロニクス技術を駆使して作りあげた、画期的なキーボードです。ポータサウンドとしての充実した音楽表現機能に加えて世界最小の高精度楽譜プリンタを本体に装備し、またメモリー機能を内蔵しました。コンパクトなボディに多くの機能を装備したMP-1は「聴く・弾く・歌う」に、さらに「創る」よろこびを加えて、どなたでも親しめ、音楽の楽しさをよりいっそう大きく広げる楽器です。本書では、MP-1を充分お楽しみいただくために正しい取扱い方法をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

ご使用のまえに

電源について

MP-1の電源は、家庭用コンセント(付属品PA-4)、電池、カーバッテリーの3つを使用することができます。

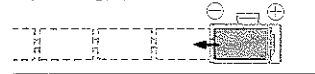
●電源アダプター(PA-4)の接続方法。



MP-1の本体左側には、図のような付属端子がついています。付属の電源アダプター(PA-4)は、AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧交換器ですから、付属端子の一番左側にある(DC9-12V IN)へ接続して電源を供給してください。

★PA-4以外のアダプターは使用しないで下さい。

●電池の入れ方 (アルカリ電池)

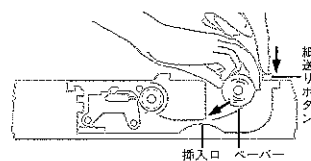


まず、本体裏面にあるケースのふたをとります。単2の乾電池を一列に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようご注意ください。電源スイッチを入れた

とき、スイッチの上のパイロットランプが常時点滅していたら、電池がなくなりはじめています。新しい電池を用意してください。

●カーバッテリーを使用するときは、専用のカーアダプター(別売)を付属端子に接続します。(接続方法については17ページをご参照ください)カーアダプターは12Vマイナスアース車専用ですので、接続する前に、車のバッテリーが12Vのものであることを必ず確認してください。

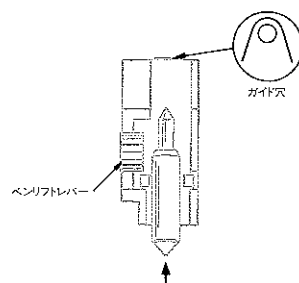
ロール紙について



まずプリンタの右下にあるオープンを矢印の方向へ動かしてください。プリンタカバーが本体からはずれません。ロール紙は先端をまっすぐ切り、シャフトを入れた後、ロール紙挿入口へまっすぐ入れます。本体の電源スイッチをONし、紙送りを押すと紙が送られます。先端がプリンタより3~5cmでたらストップしてください。ロール紙のセットが終了したら、プリンタカバーを取付け、ロール紙の先端をペーパーカッターの間から出します。
★新しいロールはノリがついているので5cm以上カットしてください。
★ロール紙は必ずMP-1指定のものをご使用ください。

★ロール紙1巻のプリント量は約160小節分です。

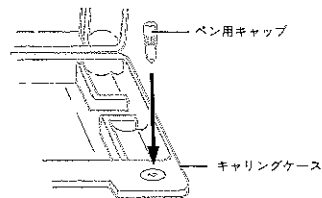
ボールペンについて



ボールペンのキャップをはずし左図の矢印の方向に挿入し、先端をガイド穴に入れます。取りはずす場合には、ペンリフトレバーをペン挿入と同じ方向に押し、ボールペンがはずれます。(長時間使用しない際には、取りはずしてキャップをかぶせて保存ください。インクが乾燥して使えなくなる場合があります。)

★ボールペン1本のプリント量は約ロール紙3巻分です。

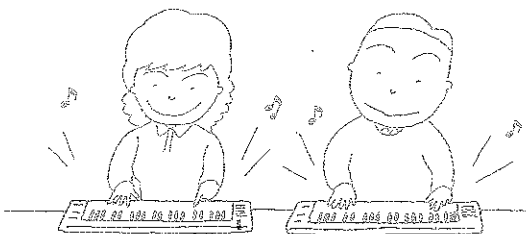
★キャリングケースの内側にペン立てが用意されています。



ポータサウンドMP-1の特長

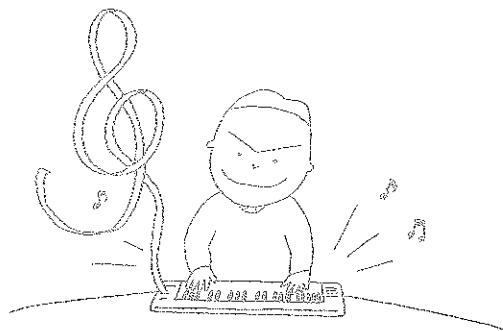
充実した音楽表現機能。

ポータサウンドMP-1は、オルガンやピアノなど10種類の音色をもつ電子鍵盤楽器。多彩な音色に加えて、リズム、オートベースコード、アルペジオの3つのファンブロック(お楽しみ機能)が、鍵盤は初めてという方にも楽しく弾いていただける、大きな魅力となっています。さらに、単音メロディー演奏に自動的にコード音の1音を加えるデュエット、4小節目ごとに選んだリズムの変化したパターンを自動的に入れる4バーが、演奏をより楽しいものにします。



弾いた音そのまま楽譜に。

MP-1の楽譜プリンタシステムは、演奏して記憶したメロディー、コードをコードネーム付き楽譜でプリントします。またその時、リズム、テンポに合わせて、自動的に演奏ムラを補正して、見やすい楽譜を作ります。

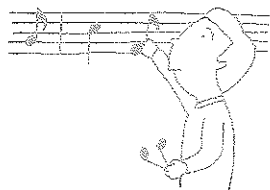
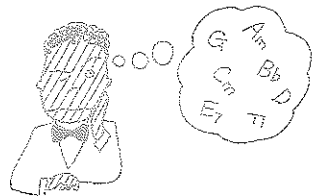


記憶・再生、重ね演奏が可能。

MP-1のメモリーシステムは、弾いた音を記憶し、何度でも再生することができます。伴奏だけを記憶させメロディーを重ねるなど、楽しみ方はもたくさん。「聴く、弾く、歌う」に加えて、音楽を創る—作曲というよこびを身近なものにするメモリー&プリント機能。今日からはあなたもソングライター、楽しみ方のご一部をご紹介します。

コード進行を記憶させよう。

曲づくりの方法は人さまざま。まずはコードの進行を決める、ブルースやロックなどはこの方法がよく使われます。

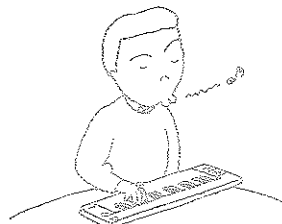


コードに合わせてメロディーを。

MP-1は常に新しい情報を記憶しますから、コード進行を再生しながら、満足のいくまでメロディーを考えることができます。できあがったらプリントに。

自作のカラオケで歌おう。

演奏メモリーを使えば、どんな曲でも記憶させることができます。自作のカラオケで歌う、なんていかがですか。

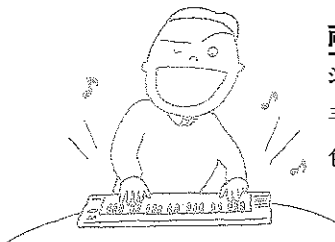


メロディーのコードを探そう。

得意の楽器やハミングでつくったメロディーを記憶。再生しながらコード進行を探しましょう。できあがったらプリントに。

いろんな楽器とアンサンブル。

自分でつくった演奏メモリーに合わせて、お得意の楽器を弾けば、1人2役の名プレイヤー。

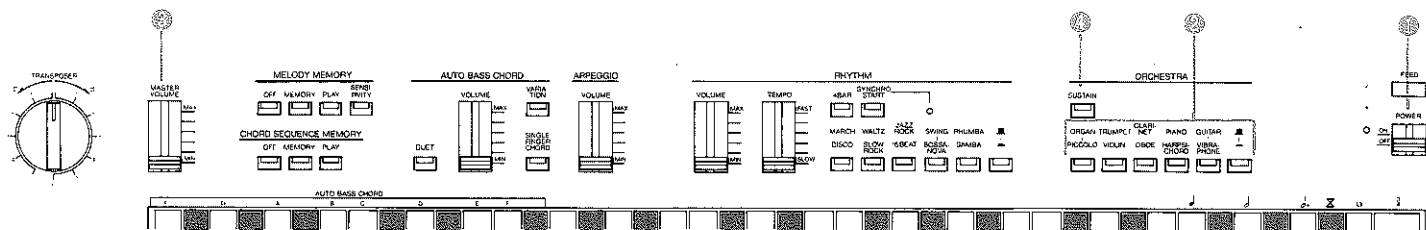


両手を使ってキーボードプレイ。

シングルフィンガーコードを使わずに両手で演奏。この時にもリズムや多彩な音色がものをいいます。

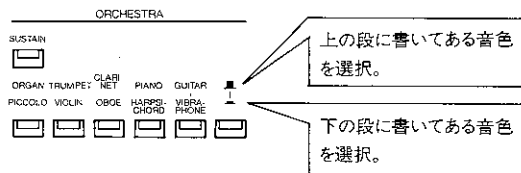
オーケストラ

お好きな音色をおえらびください。



●電源スイッチをON。

●音色セレクターから、ひとつ選んでON。



それぞれのボタンの上には2つの楽器名が書かれています。右端の上下セレクター(赤いボタン)を押していないときには上段の音色に、押したときには下段の音色になります。(もういちど押すと上段の音色に戻ります)鍵盤を押すと選んだ音色でメロディーがでてきます。お好きな音色をお選びください。

★同時に2つ以上の音色をONすると、右側の音色が優先します。

★音色のセレクトボタンがすべてOFFの場合、オルガンの音になります。

●総合音量レバーで音量を調節。

●サステインで音に余韻を。

サステインのボタンを押すと、鍵盤から指を離したあとも音が残って、自然に消えていきます。押したボタンをもういちど押すとその状態に戻ります。(ビブラホンの音色にはあらかじめサステインがセットされているので、ONしても変わりません。)

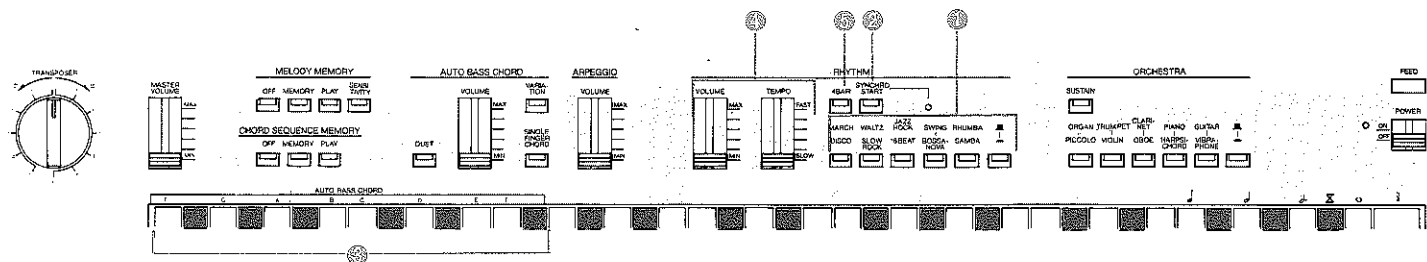
★シングルフィンガーコードのボタンがONになっていると、オートベースコード用鍵盤部では、選んだ音色はできません。

★同時に8つの音まで鳴らせます。ただし、オートベースコード使用時には4音、またアルペジオを入れると3音まで鳴らせます。(7ページ参照)

★メモリー機能を使用しない場合、メモリー部分はオフ(停止)にしておきます。

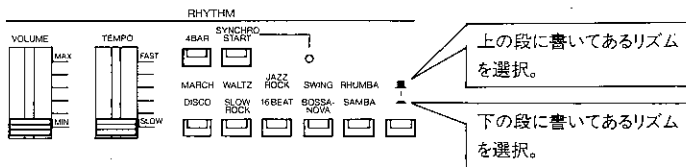
リズム

演奏にドラムをくわえましょう。



MP-1のリズムは、シンバル、スネアドラムなど、歯切れのよい打楽器音で軽快なリズムを自動的ににぎみます。また4バーを使えば4小節目ごとに、選んだリズムの変化したパターンを自動的に入れることができます。

①リズムセクターをひとつON。



リズムセクターは、音色セクターと同様に、右側の上下セクターで、上段、下段のリズムを選んでください。ワルツは3拍子、そのほかのリズムはすべて4拍子です。

★リズムのセレクトボタンがすべてOFFの場合、リズムはマーチになります。

★同時に2つ以上のリズムをONした場合、右側のリズムが優先します。

②シンクロスタートをON。

シンクロスタートの右側にあるテンポランプはリズムの速さを示しています。リズムがスタートするまでは4分音符単位で点滅します。

③オートベースコード用鍵盤を押す。

オートベースコード用鍵盤をどれか押すと、リズムスタート。リズムは第1拍目から鳴りはじめます。テンポランプはそれぞれのリズムの1拍目に点灯します。いろいろなリズムをきいてみましょう。ストップするときは、シンクロスタートのボタンを、もういちど押します。

④音量とテンポを調節。

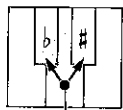
リズム用音量レバーで、リズムの音量を、テンポコントロールで、リズムの速さを調節します。

⑤4バーでリズムに変化を。

4小節目ごとに、選んだリズムの変化したパターンを自動的に入れることができます。フレーズの切れ目でリズムが変化しますから演奏がより楽しくなります。

★メモリー機能を使用しない場合、メモリー部分はオフ(停止)にしておきます。

♯、♭のついているコードの出し方



(アルファ)
(ベータ)

コードネームの中には、[F♯]や[B♭]のように♯(シャープ)や♭(フラット)のついているものがあります。その場合、♯がついていたらコードネームの右上の黒鍵を、♭がついていたら左上の黒鍵を押さえてください。

セブンスコード、マイナーコードなどの出し方

伴奏はメジャーコードだけでなくセブンスコード(例えばG7)やマイナーコード(例えばAm)もよく使われます。これらのコードは下図のように2つおよび3つの鍵盤を同時に押さえて出すことができます。

C7(セブンスコード)



メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵を同時に押す(どれでもよい)

C(メジャーコード)



Cm7(マイナーセブンスコード)



メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵と黒鍵を同時に(3音)押す(どれでもよい)

Cm(マイナーコード)



メジャーコードで押した鍵盤より左側の黒鍵を同時に押す。(どれでもよい)

●バリエーションでベース音に変化を。

バリエーションは、オートベースコードによる自動伴奏のコードの音色及びバックングパターンと、ベースパターンを変化させるボタンです。変化するパターンは、選んだリズムによって決まります。

●デュエットで音に厚みを。

オートベースコードと連動して、メロディー演奏の時にコード音が1音加わった厚みのある重音演奏ができます。

●アルペジオで演奏に色彩を。

アルペジオとは、音を連続して奏でる分散和音的な奏法のこと。バックに流せば演奏に華やかな色彩が生まれます。リズム、オートベースコードをセットし、アルペジオの音量をあげます。アルペジオが不要のときには、音量を最小にしてください。

★オートベースコードを使って伴奏するとき、メロディー用鍵盤部では、同時に4音まで鳴らせます。(アルペジオを入れると3音になります。)

★リズムとオートベースコードを同時に使うとき、伴奏の音色は、音色セレクターで選んだ音色と関係ありません。

④電源スイッチ /パイロットランプ パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

⑤総合音量 全体の音量を調節するレバーです。

【オーケストラ】(4ページ)

⑥音色セクター 音色を選ぶボタンで、上下2段に表示された音色は、右端の上下セクターで選択します。

⑦サステイン 音色に自然な余韻をつけるボタンです。

【リズム】(5ページ)

⑧リズム用音量レバー リズム音の音量を調節するレバーです。

⑨テンポコントロール リズムのテンポを調節します。

⑩リズムセクター リズムの種類を選ぶボタンです。上下2段に表示されたリズムは、右端の上下セクターで選択します。

⑪シンクrostart オートベースコード用鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせるボタンです。

⑫ムバー 4小節目ごとに、選んだリズムの変化したパターンを自動的に入れる機能です。

【オートベースコード】(6、7ページ)

⑬オートベースコード用鍵盤部 オートベースコードを使って演奏するとき、伴奏を受け持つ鍵盤です。

⑭オートベースコード用音量レバー オートベースコードの音量を調節するレバーです。

⑮シングルフィンガーコード シングルフィンガーで演奏するボタンです。

⑯バリエーション コードの音色及びバックアップパターンとベースパターンが変化します。

⑰デュエット オートベースコードと連動して、メロディー演奏の時にコード音が1音加わった厚みのある重音演奏ができます。

【アルペジオ】(7ページ)

⑱アルペジオ用音速レバー アルペジオは、さざなみのような効果音です。アルペジオが不要なときは、最小にセットしておきます。

【コードメモリー】(10ページ)

⑲停止 コードメモリーの、再生および記憶を停止します。

⑳記憶 コードを記憶するときのボタンです。

㉑再生 記憶したコードの再生ボタンです。

㉒コードプログラム用鍵盤部 コードをプログラムするときに使います。それぞれの鍵盤の上部にある音符の長さで、コードが記憶されます。

㉓[×] コードのプログラムをまちがえた時点でその1コードのみ修正ができます。

㉔[♩] ワルツのリズム指定でプログラムするときに押します。(他のリズムはすべて4拍子です)

【メロディーメモリー】(11ページ)

㉕停止 メロディーメモリーの、再生および記憶を停止します。

㉖記憶 メロディーを記憶するときのボタンです。

㉗再生 記憶したメロディーの再生ボタンです。

㉘記憶感度 メロディー演奏の微妙なタッチを記憶することができます。

【楽譜プリンタ】(13~14ページ)

㉙メモリープリント ボタンを押すと記憶された演奏をプリントします。

㉚プリントストップ ボタンを押すと即座にプリントを停止します。

㉛b・♯ 楽譜にb・♯をプリントします。

㉜プレイ&プリント このボタンを使えば演奏と同時に楽譜をプリントできます。もう1度押すとリズムが停止します。

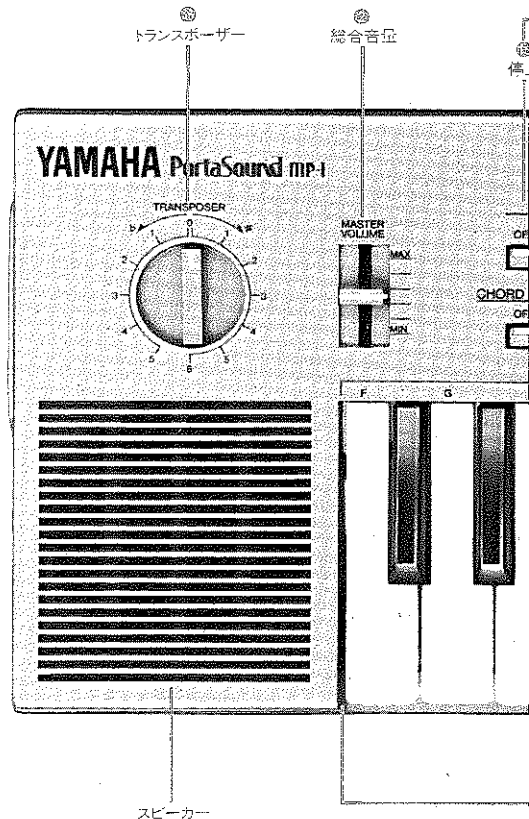
㉝プリント再開 停止したプリントを再開します。(1▶2)

㉞オープン 矢印の方向に引くと、プリンタカバーが本体からはずれます。

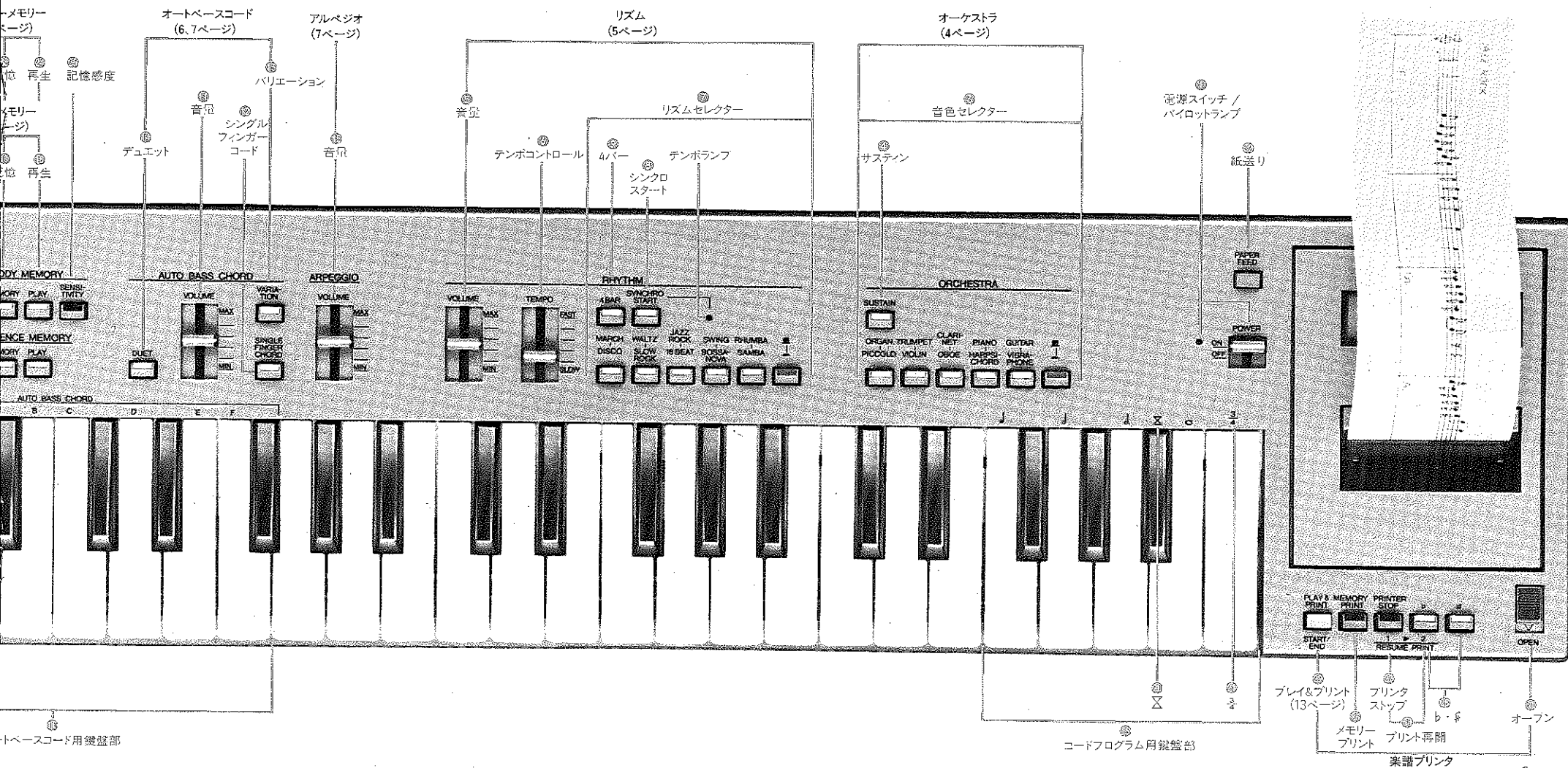
【その他】

㉟紙送り 紙送りのボタンです。

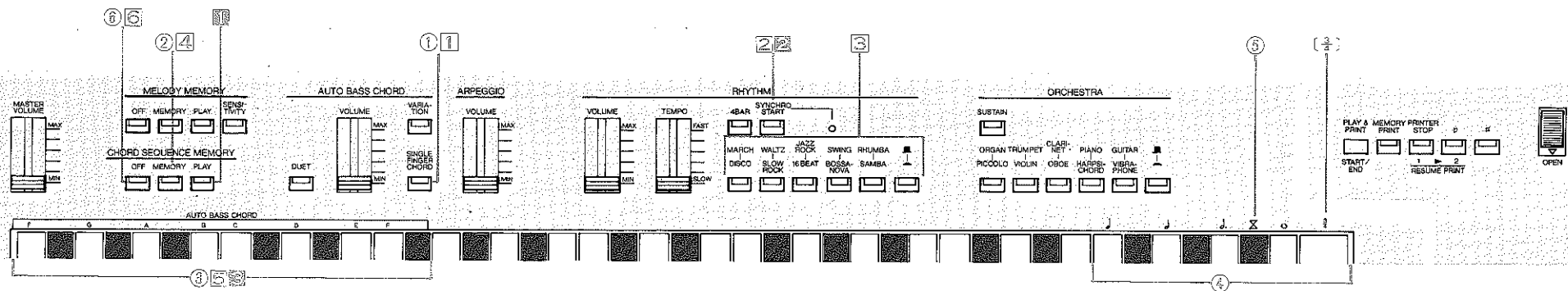
㊱トランスポージャー 半音ずつ、上下にそれぞれ半オクターブまで、キーを変えることができます。ノーマル演奏とメモリー再生時に使用できます。



MEMORY & PRINT 各部の名称とはたらき



コードメモリー



記憶

■プログラムメモリー
コードをひとつずつ記憶。

- ① シングルフィンガーコードをON。
★プログラムメモリーのとき、シンクロスタートはOFFにしてください。
- ② メモリーをON。
★プログラムメモリーのとき、シンクロスタートはOFFにしてください。
- ③ オートベースコード用鍵盤で記憶させたいコードを押さえます。
- ④ コードを左手で押さえたまま、プログラムコード用鍵盤を押しコードの長さを記憶させます。
★この時、長さの記憶が終わるまで、かならず左手を鍵盤からはなさないでください。
★コードがない(リズムだけの)小節を作りたい場合には、オートベースコード用鍵盤を押さずに右手で長さだけを記憶させてください。

- ⑤ コードのプログラムをまちがえた場合、[X]の黒鍵で修正が可能です。[X]の黒鍵を押した後に、正しくプログラムしてください。
★修正はまちがえた時点でその1コードのみ可能です。
- ⑥ コードのプログラムが終わったら、メモリーをOFFにしてください。記憶は完了です。
★プログラム用鍵盤を押しても発音しない場合、記憶がフルになっています。
[3拍子のプログラム]
②の操作後鍵盤の最右端にある[]の白鍵を押してください。③以後は同様です。
★このとき[]の左側の全音符はなくなります。(3拍子ではありえないため)

演奏メモリー

■演奏メモリー
コード演奏をしながら記憶。

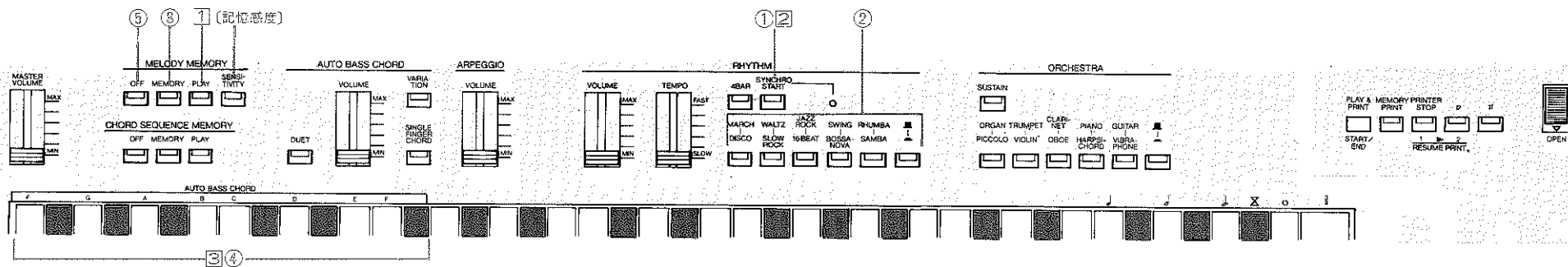
- ① シングルフィンガーコードをON。
- ② シンクロスタートをON。
- ③ リズムセクターをひとつON。
★テンポはこの時点で調整しておきます。
- ④ メモリーをON。
★リズムはいったん停止します。
- ⑤ オートベースコード用鍵盤を押す。
リズムがスタートします。曲の進行どおりにコードを演奏してください。
★オートベースコード用鍵盤が発音しない場合、記憶がフルになっています。
- ⑥ 演奏が終わったら、メモリーをOFFにしてください。記憶は完了です。

再生

■プログラムメモリーおよび演奏メモリーで記憶されたコードを再生。

- ① プレイをON。
- ② シンクロスタートをON。
★再生はセレクトしたリズムの拍子となります。
プログラムメモリーの場合はここでリズムを選んでください。ただし3拍子で記憶させたもののリズム指定はワルツのみとなります。
- ③ オートベースコードのいずれか1音を押します。
★コード再生は記憶した量が終わると自動的にストップします。
- ★新しいコードを記憶させるか、電源スイッチをOFFにしない限り、記憶したコードは何回でも再生することができます。くりかえし聞きたい場合には、再度オートベースコード用鍵盤を押してください。

メロディーメモリー



記憶

リズムに合わせてメロディーを記憶。

- ①シンクロスタートをON。
- ②リズムセクターをひとつON。
★テンポはこの時点で調整しておきます。
- ③メモリーをON。
★リズムはいったん停止します。
- ④オートベースコード用鍵盤を押す。
いずれか1音を押します。リズムがスタートし
すから演奏をはじめてください。
★複数の鍵盤を同時に弾いた場合には、最高
音が優先されて単音で記憶されます。
★メモリー容量がフルになった場合、リズムが
ストップします。このとき、オートベースコード用
鍵盤を押しても再スタートしません。
- ⑤演奏が終わったら、OFFのボタンを押して
ください。記憶は完了です。

再生

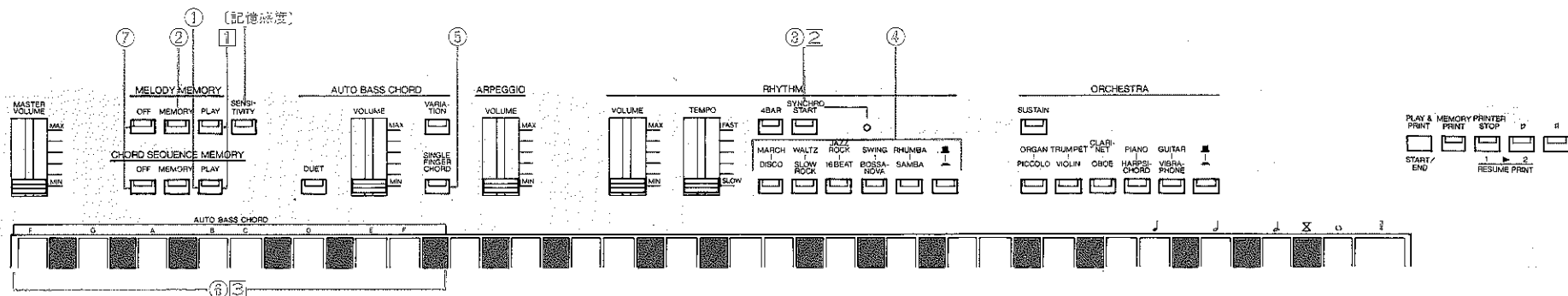
演奏メモリーで記憶されたメロ
ディーを再生。

- ①プレイをON。
- ②シンクロスタートをON。
- ③オートベースコード用鍵盤を押す。
いずれか1音を押してください。記憶が再生さ
れます。
★メロディー再生は記憶した量が終わると自動
的にストップします。
★新しいメロディーを記憶させるか、電源スイッ
チをOFFにしない限り、記憶したメロディーは
何回でも再生することができます。くりかえし聞
きたい場合には、再度オートベースコード用鍵盤
を押してください。

〔記憶感度〕

メロディー演奏の微妙なタッチを記憶すること
ができます。「記憶」の①、②の次に、このボタンを
押しながらメロディーメモリーのボタンを押して
ください。

記憶されたコード+メロディーメモリー



記憶

記憶されたコードを聞きながらメロディーを記憶。

- ①コードメモリーのプレイをON。
 - ②メロディーメモリーのメモリーをON。
 - ③シンクロススタートをON。
 - ④リズムセクターをひとつON。
 - ⑤シングルフィンガーコードをON。
 - ⑥オートベースコード用鍵盤を押す。
記憶されたコードがスタートしますから、それに合わせてメロディー演奏をはじめてください。順次記憶されます。
 - ⑦記憶が終わったら、OFF(コード、メロディーとも)のボタンを押してください。記憶は完了です。
- ★記憶させなおす場合には、メロディーメモリーをいったんOFFにして①～⑦の手順を確認してください。

★記憶されたメロディーにコードを重ねて記憶することもできます。その場合はメロディー再生をしながら、コードを記憶させてください。

再生

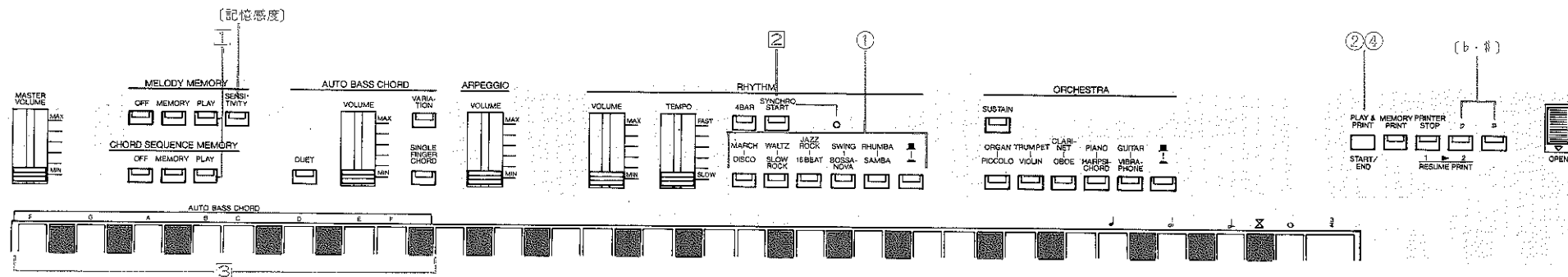
記憶されたコードとメロディーを再生。

- ①プレイ(両方)をON。
 - ②シンクロススタートをON。
 - ③オートベースコード用鍵盤を押す。
いずれか1音を押してください。記憶が再生されます。
- ★再生は記憶した量が終わると自動的にストップします。
- ★記憶させた演奏はコード、メモリーを独立して再生することもできます。

[記憶感度]

メロディー演奏の微妙なタッチを記憶することができます。「記憶」の①の次に、このボタンを押しながらメロディーメモリーのボタンを押してください。

プレイ&プリント



記憶&プリント

ボタンひとつで、演奏同時メモリー&プリント。

- ①リズムと音色をセレクト。
- ②プレイ&プリントをON(リズム自動スタート)
- ★テンポはこの時点で調整しておきます。
- ③演奏をスタート。

ただちにプリンタが作動、プリントをはじめます。(リズムはあらかじめ設定されたものになります。)

★リズムの各小節の1拍目(テンポランプ点灯時)から演奏を開始しないとメロディーの頭に休符がついてしまいますのでご注意ください。

3拍休んだ時



- ④演奏が終わったらプレイ&プリントをもう一度押してください。

リズムがストップします。プリンタは演奏分を書き終わると自動的に止まります。

★プリントの途中でストップしたいときには、プリンタストップを押してください。

[記憶感度]

メロディー演奏の微妙なタッチを記憶することができます。このボタンを押しながらプレイ&プリントのボタンを押してください。

[b.#]

b.#が必要な場合、演奏をスタートさせる前に、bあるいは#のボタンを必要な数だけ押してください。最高3個まで記譜します。

再生

記憶されたコード・メロディーを再生。

- ①プレイ(両方)をON。
- ②シンクロスタートをON。
- ③オートベースコード用鍵盤を押す。

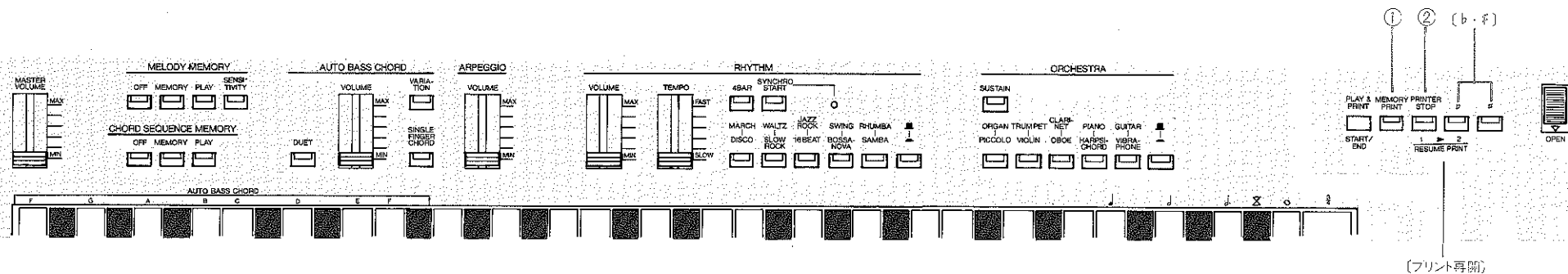
いずれか1音を押してください。記憶が再生されます。

★再生は記憶した量が終わると自動的にストップします。

プレイ&プリント使用時の注意。

- デュエットは無効になります。
- プレイ&プリントを押す前にセットしたバリエーションは無効になります。プレイ&プリントスタート後にあらためて押してください。
- プレイ&プリントを押す前にセットしたサスティンは無効になります。プレイ&プリントスタート後にあらためて押してください。

プリント



記憶されたコード・メロディーをプリント。

①メモリープリントをON。

プリンタが作動して、記憶されたコード・メロディーを楽譜にします。

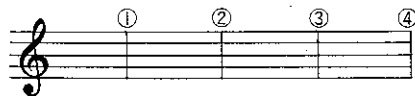
★記憶が全部終わるとプリンタは自動的にストップします。

②プリント中のストップはプリンタストップを押してください。即座にプリントは停止します。

〔プリント再開〕 1▶2

いったん停止したプリントを継続して再開させた場合、プリンタストップのボタンを押しながら〔b〕のボタンを押してください。

★プリント再開を使用した場合のプリントは、停止した段階での4小節の最初に戻って記譜します。



①、②、③、④のいずれで停止しても音記号の位置に戻って記譜します。

★プリント再開のとき、プリンタストップ前のb・#は記憶されて、記譜されます。

★プリント再開のとき、あらたにb・#を記譜させることができます。

プリント再開させる前にbあるいは#のボタンを必要な数だけ押してください。途中で転調したプリントを行うとき、臨時記号がなくなり、見やすい楽譜を作ることができます。

〔b・#〕

b・#が必要な場合、メモリープリントを押す前に、bあるいは#のボタンを必要な数だけ押してください。最高3個まで記譜します。

※プリントをしながらの再生及び演奏も可能です。

★演奏時はメモリーをオフの状態にしてください。メモリーがONの場合、発音しません。

●ERROR表示

(1)ノーデータの時——NO DATA

(2)異拍子の時——ERROR

MELODY : ○/4 CHORDS : ○/4
USE THE SAME RHYTHM
FOR PLAYING MELODY AND CHORDS.

★記憶されたメロディー・コードが表示されます。

(3)緊急STOP——□

(緊急ストップが生ずるのはプリント中にプレイ&プリントを押し、演奏をしたとき)

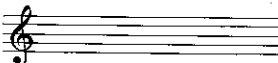
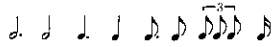
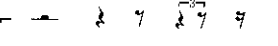
〔プリント再開〕


楽器が音を記憶する、楽器が音を記録する。

印字機能

演奏メモリーシステムにて、下記プリントを行います。

●プリント形体概略

- a. 五線譜：
- b. 音符：
- c. 休符：
- d. リズム名：(JAZZ ROCK 等)
- e. コード名：例(C, Cm, C7, Cm7)
- f. 拍子：($\frac{4}{4}$, $\frac{3}{4}$)
- g. 小節No.：(4小節ごと)
- h. b
- i. #
- j. 音程(メロディー)：G₂~C₅

- (注)1. 1小節内のコード記譜は1まで
2. 4分3連符()はなし

●プリント詳細

a. 旗のつけ方



b. タイはつける



c. 音符の分割

原則として1小節を2分音符分割とする



d. 3連符の表記位置(一定位置につける)



e. 臨時記号の書き方



f. 五線の書き方

- (1) 五線は1小節ごとにプリント
- (2) ト音記号、調号は4小節ごとにプリント
- (3) 小節番号は4小節ごとにプリント
- (4) 拍子は1小節目だけにプリント

g. コード名の書き方

- コードに変化のない時は、4小節ごとにプリント



h. リズム名称

記憶した時のリズム名をプリントする
但しNO DATAの時は、プリントしない。(ワルツのプログラムメモリーを除く)

●メモリー容量

- a. コードメモリー
コード数で約120コード
- b. メロディーメモリー
音符数で約480音符

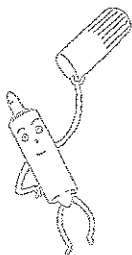
取扱上の注意

MP-1をながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

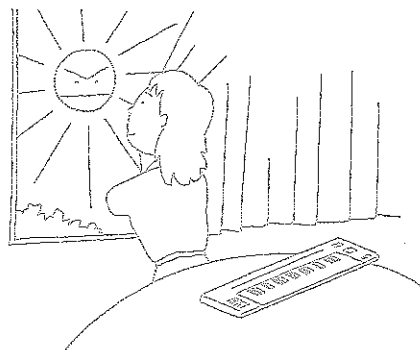
- 電池が消耗すると、雑音を生じたり、誤動作の原因となることがあります。電池を全部新しいものと取りかえてください。
- プリンタや音量レバー、鍵盤などのすきまに、ホコリや異物、特に、ヘアピン、針、硬貨などの金属物が入らないようお気をつけください。異物が入りますと、故障の原因となることがあります。また、ほこりの多い場所での使用もさけてください。
- ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。電源アダプターの場合、使わないときは、電源プラグをぬいておいてください。また、電池の場合、長い間使わないときは、電池を本体からぬいておいてください。
- MP-1をテレビ・ラジオの近くでお使いになると、テレビ・ラジオに雑音が入る場合がありますので注意してください。
- 強度の静電気や外来ノイズを受けた場合、プリンタが不安定なプリントをしたり、メモリー内容が変化したりすることがあります。このよう

な場合、電源スイッチを改めてOFF、ONしてください。

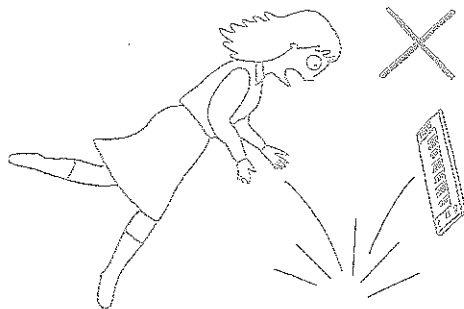
- インクの乾燥を防ぐため、長時間使用しないときには、ボールペンを取りはずし、キャップをかぶせて保存ください。



- 強い直射日光に長時間さらすことはさけてください。



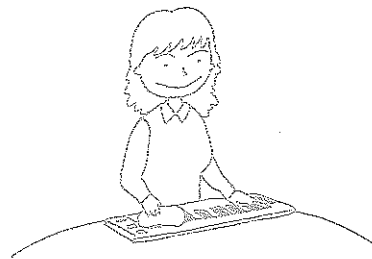
- 過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。



- 暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。
- 特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。

- プリンタのドラムや、ペンホルダーなどには強い力を加えないでください。楽譜を書いたときの誤差が大きくなる場合があります。また、ペンの位置ずれ、プリンタの故障などの原因になります。

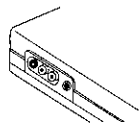
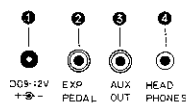
- 本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でカラぶきしてください。よこれの目立つときは、少し水で湿らせた布でふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



- ホコリや衝撃から守るため、ご使用にならないときは、ケースに収めるようにしてください。

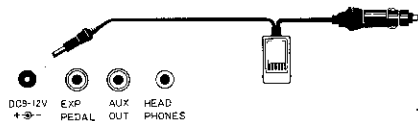
付属端子とオプション

MP-1の本体左側には、図のような付属端子が
ついています。これらを活用すれば、楽しさはいつ
そう拡がります。



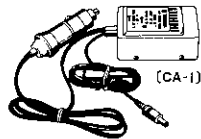
①DC 9V-12V IN端子

家庭用コンセントやカーバッテリー(シガーライ
ターソケット)から電源をとるときには、この端子を
使います。専用のアダプターを接続してください。

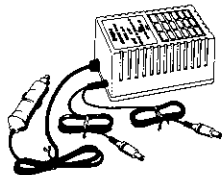


オプション(別売)

●カーアダプター(CA-1)
車のシガーライターソケット
から本体へ電源を供給しま
す。このアダプターは、異常
電圧から本体を保護するた
めの回路を内蔵しています。

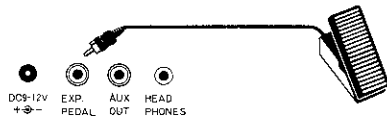


●カーアダプター(CA-2)
接続コードが2つに分かれ
ているタイプで、本体と同時
にトーンボックスなどへの電
源が取りだせます。



②EXP. PEDAL端子

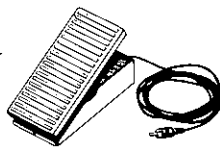
●エクスプレッションペダルは、演奏中、足で自
由に音量を調節することができるペダルです。
このEXP. PEDAL端子に接続してお使い
ください。



●専用マイクをお使いになるときも、この端子に接
続します。

オプション(別売)

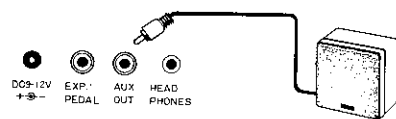
●エクスプレッションペダル
[EP-1]
音量を自由にコントロールで
きるフットペダルです。EP-1
を取り付けることで、表現力
をいっそう幅広いものにす
ることができます。



③AUX OUT端子

A.より豊かな音量で

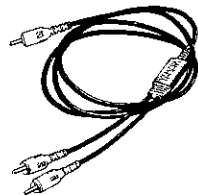
MP-1は、内蔵のスピーカーでも十分な音量で
お楽しみいただけますが、より大きな音量が必要
なときには、このAUX OUT端子を使って、アンプ
や専用スピーカーキャビネット(TO-100)などに接
続してください。迫力あるサウンドが楽しめます。
また、ステレオなどのスピーカーから音を出した
いときにも、この端子を使います。ステレオなどのLINE
IN (AUX IN) ジャックに接続してください。



B.演奏を録音

MP-1の演奏を録音したいときは、このAUX OUT
端子を使って、テープデッキのLINE IN(AUX
IN) ジャックに接続してください。録音レベルは、
テープデッキで調整できます。この時MP-1の総
合音量は歪みのないようなレベルにしぼって録
音してください。

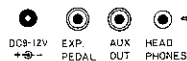
●分岐接続コード(PC-2)
出力をステレオに接続して
録音したり、ステレオ装飾で
音をだしたいときに使う分岐
接続コードです。



仕様

④ HEADPHONES端子

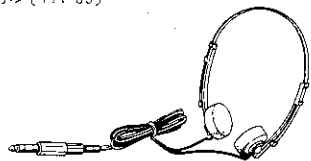
●ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



●FMトランスミッターをお使いになるときも、この端子に接続します。

オプション(別売)

●ヘッドホン(YH-35)



ロール紙・ボールペンの交換は、かならずM P-1指定のものをご使用ください。(交換方法については1ページをご参照ください。)

●ボールペン(別売)

ボールペンは4本が1セットになっています。



●ロール紙(別売)

ロール紙は5巻が1セットになっています。



■鍵盤

ミニサイズ44鍵(F₁~C₅)

■音色

オルガン	ピッコロ
トランペット	バイオリン
クラリネット	オーボエ
ピアノ	ハーブシコード
ギター	ビブラホン
上下セレクター	

■効果

サスティン(ビブラホンを除く)
ディレイビブラート組込

■リズム

マーチ	ディスコ
ワルツ	スローロック
ジャズロック	16ビート
スイング	ボサノバ
ルンバ	サンバ

上下セレクター

<コントロール>

シンクロスタートスイッチ

テンポコントロール

リズム用音量レバー

テンポランプ

4バーバリエーション

■オートベースコード

シングルフィンガーコードスイッチ

(メモリー付)

バリエーションスイッチ

<コントロール>

オートベースコード用音量レバー

■アルペジオ

アルペジオ用音量レバー

■デュエット

デュエットスイッチ

■演奏メモリーシステム

<コードメモリー>

プログラムメモリー 演奏メモリー

オフ メモリー プレイ

<メロディーメモリー>

オフ メモリー プレイ

<センシティブティ>

■ミュージックプリンタシステム

<ミュージックプリンタ>

ボールペン ロール紙

<コントロール>

プレイ&プリント(スタート、エンド)

メモリープリント プリントストップ

リジュームプリント ペーパーフィード

b # シャフト

■コントロール

パワースイッチ

パイロットランプ

トランスポザー(±半オクターブ)

ピッチ(±1/4音)

■付属端子

HEAD PHONES端子

AUX OUT端子

EXP-PEDAL端子

DC9V-12V IN端子

■メインアンプ

1.4W(6Ω負荷)

■スピーカー

7.7cm(6Ωインピーダンス)

■定格電源

電源アダプター(PA-4)

DC9V: 単2乾電池6個(アルカリ電池)

プリンタ連続使用約3時間

カーアダプター(GA-1,2)

■消費電力(PA-4使用時)

通常演奏時 5.5W(最高動力時)

プリンタ使用時 18W(最高動力時)

■寸法・外装

間口 70.6cm

奥行 16.4cm

高さ 4.3cm

重量 2.2kg

(乾電池重量を含まず)

■カラー

シャンパンゴールド ABS樹脂

アクリルラッカー仕上げ

故障でない現象

現象	原因	解決法
音色セクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	①上下セクターを操作していない。 ②オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。	①4ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ②リズムとオートベースコードを同時に使うとき、伴奏の音色は、音色セクターで選んだ音色と関係ありません。
鍵盤を同時に9音おさえても8音しかでない。また、シングルフィンガーコードをONしたとき、メロディー用鍵盤部では、同時に5音押しても4音しかでない。	鍵盤の音は、同時に最高8音までしかでないようになっています。また、オートベースコード使用時は、メロディー部で同時に4音まで、アルペジオを入れると3音までしかでないようになっています。	先におさえた音が優先します。
リズムの音がでない。	①シンクロスタートが押されていない。 ②オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ③リズムの音量が最小になっている。	5ページの説明をよんで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセクターで選んだリズムとは別のリズムがでてくる。	①上下セクターを操作していない。	
オートベースコードの音がでない。またはリズムにのらない。	①シングルフィンガーコードのボタンが押されていない。 ②オートベースコード用鍵盤部を押さない。 ③オートベースコード用音量が最小になっている。 ④シンクロスタートが押されていない。	6、7ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
アルペジオの音がでない。	①リズム及びシングルフィンガーコードがセットされていない。 ②アルペジオ用音量が最小になっている。	
音がはずむ。	すべての音量を最大にするとはずむことがあります。	音量を調節してください。
パイロットランプが点滅する。	常時 ①電池がなくなりかかっている。 瞬時 ②音量が大きいとき、プリンタ作動時、一時的に電圧がさがするため。	①新しい電池をご用意ください。 ②ご心配りありません。
ステレオに接続したり、FMトランスミッターを使ったりすると、音がはずむ。	総合音量が最大になっているとはずむことがあります。	最大より1めもり以上さげてください。
デュエットを押しても音が変わらない。	①シングルフィンガーコードのボタンが押されていない。 ②メロディー再生中は鍵盤を押してもデュエットしない。(デュエットはメロディー再生にかかります。) ③プレイ&プリントを使用した場合、デュエットは再生のみにかかります。	6、7ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。

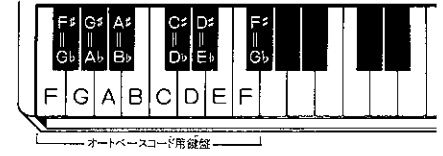
●メモリー/プリントシステムを使用する場合

現象	原因と解決法
コードメモリー再生時に、メロディー用鍵盤部では、同時に4音押しても3音しかでない。また、メロディーメモリー再生時には、同時に3音押しても2音しかでない。	コードメモリー再生時には、メロディー部では同時に3音。メロディーメモリー再生時には、同時に2音までしかでないことになっています。また、アルペジオを入れると前者では2音、後者では1音までしかでないことになっています。
プログラムコードの時に、コードの記憶ができない。	プログラム用鍵盤を先に押すと休符で記憶します。
プログラムコードが再生されない。	再生時にはかならずシンクロスタートのボタンを押してください。
プログラムコードの時全音符(o)指定の鍵盤が鳴らない。	3拍子を指定した場合には、1小節中の全音符はありえないので鳴りません。
プレイ&プリントボタンを押してもプリントが止まらない。	演奏の途中でストップするときには、プリントストップを押してください。
楽譜のプリントが鮮明にできない。	①長時間、使用しなかったためにボールペンのインクがかわいている。 ②交換した直後のロール紙には、ノリ及び手の油がついているため、ボールペンのインクがつきにくい。 ③インクが切れかかっています。新しいボールペンと交換してください。
プレイ&プリントの時バリエーション、サスティンがきかない。	プレイ&プリントを押す前にセットしたバリエーション、サスティンは無効です。あらためてセットしてください。
弾いたメロディーと再生したメロディーが違う。	音符の記憶できる最小単位が16分音符なので、それより短い音符は自動的に消去、補正するため。
記憶させている途中にリズムを突えるとリズムが停止する。	3拍子から4拍子、または4拍子から3拍子のリズム切り換えはできない。
記憶したものをプリントさせようとメモリープリントをONしたら、リズム音が鳴り出し、記憶したものをプリントしない。	誤ってプレイ&プリントのボタンに触れて、プレイ&プリントがスタートしたため。正しくボタンを押してください。
プリント中鍵盤を押しても音がでない。	メモリースイッチがONになっていると鍵盤を押しても音が出ません。メモリーをOFFあるいはPLAYにしてください。

オートベースコード一覧表

●オートベースコードについて

オートベースコードは、押した鍵盤をもとに和音とベース音の伴奏がリズムによって自動的にでてくる自動伴奏機能です。



メジャー・コード	
C	
C [♯] /D [♭]	
D	
D [♯] /E [♭]	
E	
F	
F [♯] /G [♭]	
G	
G [♯] /A [♭]	
A	
A [♯] /B [♭]	
B	

そのコード名のキーを押します。

マイナー・コード	
Cm	
C [♯] /D [♭] m	
Dm	
D [♯] /E [♭] m	
Em	
Fm	
F [♯] /G [♭] m	
Gm	
G [♯] /A [♭] m	
Am	
A [♯] /B [♭] m	
Bm	

そのコード名のキーと、それより低い方の黒鍵を押します。

セブンス・コード	
C7	
C [♯] /D [♭] 7	
D7	
D [♯] /E [♭] 7	
E7	
F7	
F [♯] /G [♭] 7	
G7	
G [♯] /A [♭] 7	
A7	
A [♯] /B [♭] 7	
B7	

そのコード名のキーと、それより低い方の白鍵を押します。

マイナー・セブンス・コード	
Cm7	
C [♯] /D [♭] m7	
Dm7	
D [♯] /E [♭] m7	
Em7	
Fm7	
F [♯] /G [♭] m7	
Gm7	
G [♯] /A [♭] m7	
Am7	
A [♯] /B [♭] m7	
Bm7	

そのコード名のキーと、それより低い方の黒鍵と白鍵を押します。

メモリー&プリント操作手順早見表

メモリー&プリント機能の操作手順を表にしたものです。くわしくは取扱説明書の10～15ページの説明をご参照ください。

コードメモリー		メロディーメモリー	記憶されたコード + メロディーメモリー	メロディー・コード同時メモリー
<p>プログラムメモリー</p> <p>①シングルフィンガーコードON</p> <p>②コードメモリーON</p> <p>★3拍子の場合[$\frac{3}{4}$]を押す</p> <p>③ (コード名を押しながら ↓ 長さ指定鍵盤を押す)</p>	<p>演奏メモリー</p> <p>①シングルフィンガーコードON</p> <p>②シンクロスタートON</p> <p>③リズムセクターON (テンポ設定)</p> <p>④コードメモリーON</p> <p>⑤A B C 鍵盤を押す</p>	<p>①シンクロスタートON</p> <p>②リズムセクターON (テンポ設定)</p> <p>③メロディーメモリーON</p> <p>④A B C 鍵盤を押す</p> <p>⑤演奏スタート</p>	<p>①コードプレイON</p> <p>②メロディーメモリーON</p> <p>③シンクロスタートON</p> <p>④リズムセクターON</p> <p>⑤シングルフィンガーコードON</p> <p>⑥ABC鍵盤を押し演奏スタート。</p>	<p>①シングルフィンガーコードON</p> <p>②シンクロスタートON</p> <p>③リズム/音色のセレクト</p> <p>④メモリー(両方)ON</p> <p>⑤演奏スタート</p>

記憶 & プリント

プレイ&プリント

①リズムと音色をセレクト
(テンポ設定)

②プレイ&プリントON
↓
リズムスタート

③演奏スタート
↓
プリントスタート

★演奏が終わったら、プレイ&プリントをもう一度押すとリズムストップ

★プリントのストップは、プリンタストップを押す



再生

①プレイ(両方)ON

②シンクロスタートON

③A B C 鍵盤を押す



プリント

①メモリープリントをON

★プリント終了後自動ストップ

★途中ストップはプリンタストップを押す。

※A B Cはオートベースコードの略です。

アフターサービスと保証

●サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

■保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障でない現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL. 0252-43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸電町8-7 日本楽器高松店内 TEL. 0878-51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター TEL. 052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL. 011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 0222-36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL. 082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL. 0534-56-9211
(本社) 営業技術課 電音サービスセンター	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL. 0534-65-1111

本社 / 〒430 浜松市中沢町10-1

☎ 0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル

☎ 03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋ビル東館

☎ 06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28

☎ 052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

☎ 092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター

☎ 011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10

☎ 0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

☎ 082(244)3744

浜松支店 / 〒430 浜松市鍛冶町321-6

☎ 0534(54)4116

